



日光地区が活性化へ向け、義方校区自治連合会と協定締結

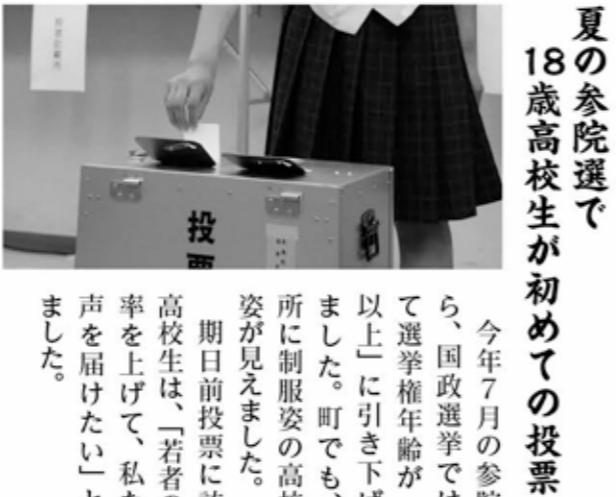
日光地区協議会と米子市の義方校区自治連合会が、日光地区的活性化に連携して取り組む「むら・まち支え合い共生の里」協定を締結しました。

協定期間は平成30年度末までの約3年間で、農地などの保全管理、遊休農地の再生などに協働で取り組む予定です。



植田正治写真美術館 入館者数60万人達成

植田正治写真美術館の入館者数が、平成7年の開館以来、4月で60万人に達しました。節目の来館者となつたのは、日帰りで鳥取旅行に訪れた岡山市の岩本学さん（48）と佳子さん（50）夫婦。佳子さんは「記念の日に来ることができてうれしい」と話しました。



夏の参院選で 18歳高校生が初めての投票

今年7月の参院選から、国政選挙では初めて選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられました。町でも、投票所に制服姿の高校生の姿が見えました。

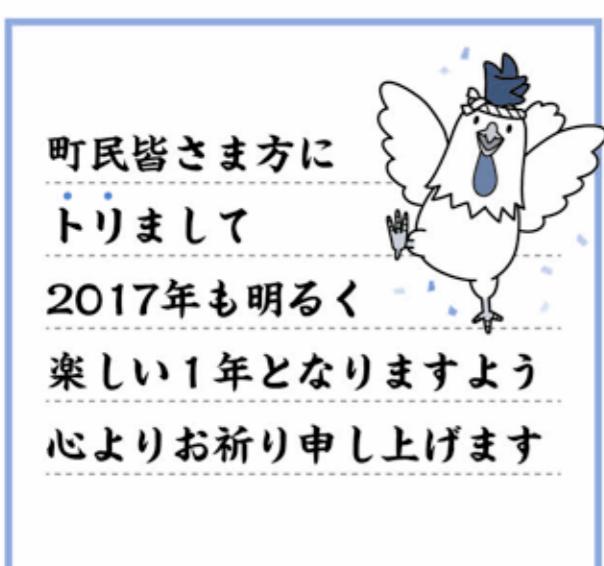
期日前投票に訪れた高校生は、「若者の投票率を上げて、私たちの声を届けたい」と話しました。



岸本温泉ゆうあいバル 入館者数150万人突破

平成14年10月に開館した岸本温泉ゆうあいバルは、1日平均280人、盆や正月の繁忙期には1日800人が利用します。

同館は10月、入館者数150万人を達成し、節目の入館者となつた伯耆町の上山裕晃さんに、森安保町長が記念品を贈りました。



沖縄県読谷村の子どもたちが民泊や初めてのスキーを体験

沖縄県読谷村から13人の子どもたちが2月、町内の子どもたちと交流を楽しもうと、民泊や初めてのスキーを体験したり、地域の伝統芸能も互いに披露しました。

沖縄の男の子たちは、獅子舞で難しい立ち技を演じ、観客を沸かせました。



県外移住者向け 「お試し住宅」の利用開始

移住希望の県外者が安い賃料で最大3か月間滞在できる「お試し住宅」の貸し出しを始めました。

最初の利用者は、東京都在住の4人家族。「美しい田園風景があり、買い物も便利。都会に比べ、スーパーの野菜が安くて新鮮でした」と喜んでいました。

伯耆町の1年間を振り返る 2016年 総目の話題まとめ

伯耆町はこの1年、さまざまなお出来事がありました。その中から、2016年を象徴する注目の話題を厳選してご紹介します。



日光小の閉校式には、在校生8人と教職員のほか、卒業生や地域住民ら100人以上が集まり、思い出が詰まつた学び舎で、最後の時間をお過ごしました。



児童数減少のため、平成28年度に統合する溝口・日光小学校の2校で、閉校式が行われました。

日光小の閉校式には、在校生8人と教職員のほか、卒業生や地域住民ら100人以上が集まり、思い出が詰まつた学び舎で、最後の時間をお過ごしました。

日光小 98年の歴史に幕

新生・溝口小学校が誕生

日光小と統合した新たな溝口小学校の開校式で、新しい校旗・校歌・校章がお披露目されました。



校章は、溝口小6年・西村脩汰くんのデザインをもとに作られ、3羽の鳥が、3つの校訓（敬愛・研学・立志）と、たくましく生きる児童の姿を表しています。